



こうまだより

第572号
令和2年1月31日

園長 高麗正夫

やる気

3 階の職員室で仕事をしていると隣のホールから、子どもたちの声とピアノの音が聞こえてくる。子ども会の練習をしているんだなと思った。一人ひとり全員がやる気を出して子ども会の練習に励んでいる。そのやる気スイッチはどうやって入れたのだろう。子ども会にお父さんやお母さんが観に来るのでいっぱい練習して、いい所を観せてあげよう。あるいは、踊りやダンスといった舞台が好きな子にとっては、舞台に上がりたいという子もいる。

物事に興味を持って取り組む気持ちは、何通りかある。先生から言われて、「今度、お父さんやお母さんが観に来る子ども会があるので、皆で劇の練習を頑張りましょう」という方法はやる気を外からを押されてやる気にさせる。これはまだ子ども会というものが想像できない年少さんに対して使われる。年長になると、子ども会を経験しているため、練習して臨まなければいけないことが分っている。そのため、弁当を食べ終えた後に、子ども同士で練習している風景を見ることがある。そういう風景は他の子どもにも良い影響を与え、自分も練習しなければという気持ち（やる気）につながっていくのでしょ

う。2月16日（日）に味の素フィールド西が丘サッカー場でサッカー教室に入っている子どもたちが試合をする。1年間サッカーの練習をしてきた成果が試される。試合に全員出るため、勝敗はあまり期待できない。しかし、天然芝の土で他の幼稚園の子どもと試合をするという経験は、子ども会の舞台に上がるのと同じ効果がある。サッカー教室に入っている子は皆サッカーをやりたくて入ってきているので、サッカーの試合に出たいという気持ちが強い。以前、試合後に泣いている子を見た。先生に聞くと「試合に負けて悔しい」と言っていたそう

だ。西が丘サッカー場での試合後は、皆サッカーの練習に対する気持ちが変わって真剣に取り組むようになる。

私は、今の時期、勝つことよりも負けた方が、サッカーの練習に取り組む姿勢が変わって、やる気が出てくると思っている。

やる気は、人から言われてスイッチが入るものではない。周りの環境と目標に向う気持ちが、やる気（意欲）につながるものだ。

2月8日（土）の子ども会は、一人ひとりが主役と思い頑張ります。その頑張りは観に来てくれる保護者に感動を与えるで

お願い

登降時のみに着ている防寒着（コート等）は基本、大門で保護者の方がお持ち帰りください。
尚、保育中に着用する防寒着は、動きやすいトレーナー・フリース（フードなし）などをお願い致します。